

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		演習科目 演習科目					
科目名		専門ゼミナールⅣ(中田)					
副題							
対象	3年、4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	必修
種類	演習	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2021	教室	C204	担当教員	中田 和則		
到達目標							
・個人またはグループで新規ビジネスプランを策定する。							
成績評価の方法							
・ゼミへの積極的な参画状況、問題演習の採点(50%)ビジネスプラン策定への貢献度(50%)により成績評価する。 ・理由がある欠席は4回まで認める。特別な理由がない場合、欠席5回以上は単位を認めない。							
テキスト							
講義の中で、適時、指示する。							
その他							
・大学祭で商品の仕入(地元ブランド品)、販売を行い、売上・費用・利益の関係を実践を通じて理解する。 ・ゼミ内で策定検討した、新規ビジネスプランを持って、大学対抗「学生ビジネスプランコンテスト」の出場と入賞を目指す。							
講義内容							
簿記・会計の演習と、新規ビジネスプランに関する学習・検討を実施する。							
受講登録以前に準備すること							
簿記・会計の知識をベースに、将来、自分が取り組みたい、新規ビジネスプランのイメージしておくこと。							
取得可能な資格							
なし。							
授業の方法							

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	演習科目 演習科目	
科目名	専門ゼミナールⅣ(中田)	
会計の基礎と、創業やビジネスプラン策定を中心に実施する。 予習と復習に毎週4時間程度が必要。		
授業計画		
第1回	会計の基礎	
	担当教員	中田 和則
第2回	会計の基礎	
	担当教員	中田 和則
第3回	ビジネスプランの検討	
	担当教員	中田 和則
第4回	ビジネスプランの検討	
	担当教員	中田 和則
第5回	地域資源とマーケットニーズの検討	
	担当教員	中田 和則
第6回	地域資源とマーケットニーズの検討	
	担当教員	中田 和則
第7回	ビジネスプランの方向性	
	担当教員	中田 和則
第8回	ビジネスプラン ・会社の設立と運営	
	担当教員	中田 和則

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	演習科目 演習科目	
科目名	専門ゼミナールⅣ(中田)	
第9回	ビジネスプラン ・理念、戦略	
	担当教員	中田 和則
第10回	ビジネスプラン ・ターゲット	
	担当教員	中田 和則
第11回	ビジネスプラン ・組織、人財	
	担当教員	中田 和則
第12回	ビジネスプラン ・競合分析	
	担当教員	中田 和則
第13回	ビジネスプラン ・PDCA計画	
	担当教員	中田 和則
第14回	ビジネスプラン ・資金調達	
	担当教員	中田 和則
第15回	ビジネスプラン ・プレゼン、プロモーション	
	担当教員	中田 和則
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	100	・ゼミへの積極的な参画状況、問題演習の採点(50%)ビジネスプラン策定への貢献度(50%)により成績評価する。 ・理由がある欠席は4回まで認める。特別な理由がない場合、欠席5回以上は単位を認めない。

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	演習科目 演習科目	
科目名	専門ゼミナールⅣ(中田)	
その他	0	

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		演習科目 演習科目					
科目名		専門ゼミナールⅣ(西川)					
副題							
対象	3年、4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	必修
種類	演習	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2021	教室		担当教員	西川 祥一		
到達目標							
地元の苫小牧市を活性化するために、コミュニティFMの番組を制作し、情報発信するプロジェクトゼミです。 1) 自分たちでラジオ番組を企画、制作できる 2) 地域の特性を理解し、地域の問題を把握し、解決策を提案できる。 3) コミュニティーラジオというメディアの役割を説明できる							
成績評価の方法							
ゼミの積極的参加(30%)、ゼミ中のプレゼン力や企画力(20%)FM番組の完成度(25%)、プロジェクトについてのレポート(25%)で評価し、60点以上に単位を付与する。							
テキスト							
必要に応じて、資料を用意します。							
その他							
実務家教員による科目 1982～2022年 朝日新聞社勤務。東京・大阪で社会部員、東京本社校閲センター長、北海道報道センター長を務める							
講義内容							
このゼミは、専門書のレジメを書き発表したり、それぞれのテーマで議論したりという従来型のゼミではありません。テーマを調査し、立案し、実行するプロジェクト型の演習です。大きなテーマは、苫小牧市の活性化です。地元を元気にしようとしている人たちや本学の先生の思いなどを紹介しながら、実行する実践型のゼミです。2026年度のテーマは、「苫小牧のウリは何か」です。本学の教員をゲストに、各専門分野の研究をつうじて見えている「苫小牧の今」を、SNSやコミュニティFMの番組作成などを通じて発信していきます。 (履修の注意) 社会体験や企業、商店、NPOなどとの交流、体験に意欲的な学生の受講を期待しています。教室で活性化活動する							
受講登録以前に準備すること							
特になし							
取得可能な資格							
なし							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	演習科目 演習科目
科目名	専門ゼミナールⅣ(西川)
このゼミは、他の授業や部活、アルバイトなどとのスケジュール調整が必要です。しかし、このプロジェクトを優先するような強制はありません。社会人に求められるセルフマネジメントを学ぶ機会でもあります。自ら立案したプロジェクトを進行させ、一定の実績を出すのが目的です。地域の抱える課題、ラジオに登場するゲストについても調査、ラジオ番組の収録、編集などの作業(予習、復習)に4時間はかかります。	
授業計画	
第1回	オリエンテーション
第2回	まちおこしを行う人たちの、活動内容や目標を聞き、ゼミの活動を決める①
第3回	まちおこしを行う人たちの、活動内容や目標を聞き、ゼミの活動を決める②
第4回	FM番組制作
第5回	FM番組制作
第6回	まちおこしを行う人たちの、活動内容や目標を聞き、ゼミの活動を決める③
第7回	まちおこしを行う人たちの、活動内容や目標を聞き、ゼミの活動を決める④
第8回	街の課題と取り組むプロジェクトの設定①
第9回	FM番組の制作
第10回	FM番組の制作

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	演習科目 演習科目	
科目名	専門ゼミナールⅣ(西川)	
第11回	フィールドワーク	
第12回	フィールドワーク	
第13回	FM番組の制作	
第14回	プロジェクトの実施計画の発表	
第15回	総まとめ	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	100	ゼミの積極的参加(30%)、ゼミ中のプレゼン力や企画力(20%)FM番組の完成度(25%)、プロジェクトについてのレポート(25%)で評価する。
その他	0	

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		演習科目 演習科目					
科目名		専門ゼミナールⅣ(星野)					
副題							
対象	3年、4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	必修
種類	演習	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2021	教室	C322	担当教員	星野 芳輝		
到達目標							
卒業論文執筆に向けた調査研究の方法の学習と、研究の実施と発表を問題なく行うことができる。							
成績評価の方法							
積極的参加 2%×15回(30%) 発表などによる成果 20%×3回(60%) 課題の提出 10%							
テキスト							
特になし。必要に応じて配布。							
その他							
講義内容は変更になる可能性がある。 観光、文化政策についてのテーマに関心がある学生の受講を推奨。 自学自習と積極的で自主的な研究(週7時間程度)							
講義内容							
自主的な研究成果の発表を主体とし、その内容に基づいてディスカッションなどを行い、卒業論文執筆に向けた調査研究を行う。また、必要に応じて共同して調査や研究を行う。							
受講登録以前に準備すること							
なし							
取得可能な資格							
特になし。							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	演習科目 演習科目
科目名	専門ゼミナールⅣ(星野)
受講生と相談し、適宜変更になる可能性がある。 学生の興味関心に合わせ、研究課題を設定し、その報告によってディスカッションや指導を行う。	
授業計画	
第1回	ガイダンスと講義計画の設定
第2回	ゼミ
第3回	ゼミ
第4回	ゼミ
第5回	ゼミ
第6回	ゼミ
第7回	ゼミ
第8回	ゼミ
第9回	ゼミ
第10回	ゼミ

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	演習科目 演習科目	
科目名	専門ゼミナールⅣ(星野)	
第11回	ゼミ	
第12回	ゼミ	
第13回	ゼミ	
第14回	ゼミ	
第15回	まとめ	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	40	積極的参加 2%×15回(30%) 課題の提出 10%
その他	60	発表などによる成果 20%×3回(60%)

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		演習科目 演習科目					
科目名		専門ゼミナールⅣ(瀬名波)					
副題							
対象	3年、4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	必修
種類	演習	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2021	教室	C321	担当教員	瀬名波 栄潤		
到達目標							
計画的に研究し一定の成果を達成できる能力を養う。							
成績評価の方法							
・受講生の研究計画の質と達成度を総合的に評価する。 ・5000字レポート(先行研究20点＋注釈)							
テキスト							
受講生の関心に合わせて、適宜作成・配布する。							
その他							
特になし							
講義内容							
英語圏文学研究、映画研究、ジェンダー・セクシュアリティ論、DEI論等の中から、受講生は課題を特定し計画を立て、発表・討論し、5000字のレポートを執筆提出する。							
受講登録以前に準備すること							
上記研究分野について、関連授業履修などで基礎的知識を有しておくこと。							
取得可能な資格							
特になし							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	演習科目 演習科目
科目名	専門ゼミナールⅣ(瀬名波)
発表・討論形式。	
授業計画	
第1回	イントロ
第2回	個人プロジェクト1(個人面談)
第3回	個人プロジェクト2(個人面談)
第4回	プロポーザル発表
第5回	個人プロジェクト3(個人面談)
第6回	個人プロジェクト4(個人面談)
第7回	中間発表1
第8回	個人プロジェクト5(個人面談)
第9回	個人プロジェクト6(個人面談)
第10回	個人プロジェクト7(個人面談)

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	演習科目 演習科目	
科目名	専門ゼミナールⅣ(瀬名波)	
第11回	中間発表2	
第12回	個人プロジェクト8(個人面談)	
第13回	個人プロジェクト9(個人面談)	
第14回	個人プロジェクト10(個人面談)	
第15回	最終発表	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	100	研究計画(20%) 研究の質と進捗状況(30%) 最終発表(20%) 5000字レポート(30%):締切(12/28(月))
その他	0	

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		演習科目 演習科目					
科目名		専門ゼミナールⅣ(杉山)					
副題							
対象	3年、4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	必修
種類	演習	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2021	教室	C323	担当教員	杉山 維彦		
到達目標							
観光に関連する産業と地域活性について調査し、探求していく。 ・地域に密着する産業の調査 ・地域機関の活用 ・地元産業の観光に接続した開発 ・サードエリアからのまちづくり 以上について、フィールドワークをグループで行い、ディスカッション、プレゼンテーションを行い、							
成績評価の方法							
授業への参加度(40%)、授業内でのディスカッション、プレゼンテーション(40%・各20%)、レポート(20%)							
テキスト							
クリエイティブツーリズム～「あの人」に会いに行く旅～ / 友原嘉彦編著 / 古今書院 / 2022年 / IBN978-4-7722-3200-5 / 3200円(税別)							
その他							
グループワークや個人でのプレゼンテーションを行ってもらう。 配布物(プリントなど)は、翌々回(次の次の回)までしか配布しないので、欠席する場合は注意! 授業内で小テストを行うことがあるので、欠席にした場合はその点数が無くなる。 また、期末試験に代わるレポートは授業中にテーマを発表する。 よって、欠席した場合は、これらの情報や得点が得られない懸念があるので、欠席をしない様に。 欠席は厳しくチェックを行い、その時のプレゼンやワークの部分が大きく減点されることを理解した上で、参加すること。							
講義内容							
特に観光関連産業全般について、グループで調査し、その結果を討論の上まとめ上げるプロジェクト型のゼミ。 授業時間以外にも、参与観察(定点観測)や聞き取り調査(インタビュー調査)のためフィールドへ出ることが多い実践型である。 学生それぞれの興味分野を深く探求していく。							
受講登録以前に準備すること							
自分の興味ある観光産業や日本の都市について詳しく理解しておく							
取得可能な資格							
特になし							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	演習科目 演習科目
科目名	専門ゼミナールⅣ(杉山)
教室でのディスカッション、プレゼンテーションに先駆け、フィールドへ出かける。 そのため、プライベートに影響する可能性があるがセルフマネジメントとしての能力が必要となる。 授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要。 事前学習:フィールドワークの行先などについて詳細に調べる。(各2時間) 事後学習:終了したフィールドワークを自分なりにまとめ次週提出する。(各2時間)	
授業計画	
第1回	プロローグ & ガイダンス(観光・観光産業とは何か)
第2回	第1章 クリエイティブツーリズムとサードエリア
第3回	第2章 あの人暮らしした町へ行こう(東京・フィレンツェ)
第4回	第3章 さくらもこの清水(清水)
第5回	フィールドワーク(新千歳空港)
第6回	第4章 小泉凡 ラフカディオ・ハーンの松江に生きる(松江)
第7回	第5章 アートと町～黄金町のアーティストたち～(横浜)
第8回	フィールドワーク(定山溪)
第9回	第6章 下関市におけるゲストハウスの新展開～クリエイティブツーリズムのポテンシャルを探る～(下関)
第10回	第7章 地域活動と岸和田だんじり祭りからの実証(岸和田)

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	演習科目 演習科目	
科目名	専門ゼミナールⅣ(杉山)	
第11回	第8章 ジオパークによるクリエイティブツーリズムの創出(隠岐)	
第12回	第9章 航空マニアの道楽「紋別タッチ」に見る地元との交流と経済促進(紋別)	
第13回	第10章 居住地と夢の現実に都合の良い地域コミュニティとは～女性のクリエイティブクラスの視点から～	
第14回	クリエイティブツーリズムの確認と各自プレゼン	
第15回	エピソード & まとめ(観光はどこに向かっているのか。地域(地元)の観光関連産業対してどう向き合うか)	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	100	授業への参加度(40%) 授業内でのディスカッション、プレゼンテーション(40%・各20%) レポート(20%)
その他	0	

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		演習科目 演習科目					
科目名		専門ゼミナールⅣ(種石)					
副題							
対象	3年、4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	必修
種類	演習	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2021	教室		担当教員	種石 悠		
到達目標							
歴史学・人類学・考古学、およびこれらの関連分野について、自身で研究テーマを設定し、その調査・研究方法を理解・実施できるようにする。 卒業研究に向けて、その対象分野の文献を読み込んで研究史を把握するとともに、解明されていない課題を明らかにする。明らかになった課題について、どのような分析法が有効か探り、分析を行う。 分析結果から得られた新たな知見について解釈し、的確に口頭また文章で表現できるようにする。他の発表者と議論ができるようにする。							
成績評価の方法							
各講義内の課題(3点×15回、45%) 期末レポート(55点、55%)							
テキスト							
種石 悠 2023年『オホーツク文化の考古学：辺境から眺める古代日本』銀河書籍 ※ 購入希望者のみ、購入のこと。							
その他							
特になし							
講義内容							
歴史学・人類学・考古学、およびこれらの関連分野で卒業研究を行なおうとする学生が、研究テーマを設定し、調査・研究の方法を理解できるよう、担当教員の研究業績に沿いながら解説する。 特に、学生が取り組もうとする研究分野について、その研究の目的と方法、先行研究の把握と課題の抽出、分析の目的と方法を明確にできるように解説する。専門ゼミⅢを履修した学生は、実際に分析し、その結果を解釈することを目指す。							
受講登録以前に準備すること							
特になし							
取得可能な資格							
特になし							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	演習科目 演習科目
科目名	専門ゼミナールⅣ(種石)
担当教員の著作をテキストに、歴史学・人類学・考古学研究法の実践を学ぶ。学生が取り組もうとする研究分野について、その研究の目的と方法、先行研究の把握と課題の抽出、分析の目的と方法について発表し、議論する。研究史の理解は特に入念に行なう。専門ゼミⅢを履修した学生は、実際に分析し、その結果を解釈し、考察を発表する。 毎回テキストの内容を1章ずつ解説してゆくので、2時間をかけてわからない語句等を予習し、講義後は関連文献などを用いて2時間をかけて復習を行なう。	
授業計画	
第1回	ガイダンス
第2回	テキストを用いた歴史学・人類学・考古学研究法の講義。
第3回	テキストを用いた歴史学・人類学・考古学研究法の講義。
第4回	テキストを用いた歴史学・人類学・考古学研究法の講義。
第5回	テキストを用いた歴史学・人類学・考古学研究法の講義。
第6回	テキストを用いた歴史学・人類学・考古学研究法の講義。
第7回	テキストを用いた歴史学・人類学・考古学研究法の講義。
第8回	テキストを用いた歴史学・人類学・考古学研究法の講義。
第9回	研究の目的と方法、先行研究の把握と課題の抽出、分析の目的と方法についての発表と議論。
第10回	研究の目的と方法、先行研究の把握と課題の抽出、分析の目的と方法についての発表と議論。

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	演習科目 演習科目	
科目名	専門ゼミナールⅣ(種石)	
第11回	研究の目的と方法、先行研究の把握と課題の抽出、分析の目的と方法についての発表と議論。	
第12回	研究の目的と方法、先行研究の把握と課題の抽出、分析の目的と方法についての発表と議論。	
第13回	研究の目的と方法、先行研究の把握と課題の抽出、分析の目的と方法についての発表と議論。	
第14回	研究の目的と方法、先行研究の把握と課題の抽出、分析の目的と方法についての発表と議論。	
第15回	研究の目的と方法、先行研究の把握と課題の抽出、分析の目的と方法についての発表と議論。	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	45	各講義内の課題 3点×15
その他	55	期末レポート 55点

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		演習科目 演習科目					
科目名		専門ゼミナールⅣ(山中)					
副題							
対象	3年、4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	必修
種類	演習	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2021	教室	C320	担当教員	山中 慎		
到達目標							
・課題解決能力 ・社会にどう貢献するかを考えることができる ・自分のキャリアについて具体的に活動することができる ・論文のテーマ決めと組み立てができる							
成績評価の方法							
評価方法:講義内課題(論文組み立て) 評価割合:講義内レポート課題(100%)・講義内での提出物にて評価する							
テキスト							
特になし							
その他							
特になし							
講義内容							
・卒業論文に向けた取り組み ・前期で学んだ内容を論文作成へつなげる作業をする							
受講登録以前に準備すること							
必要なもの パソコン・タブレット等入力可能なもの							
取得可能な資格							
特になし							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	演習科目 演習科目
科目名	専門ゼミナールⅣ(山中)
アクティブラーニング (問答法・ディスカッション・実習・グループディスカッション) 1回の講義について ・予習(4時間):講義で取り上げる内容などにより、講義のおおまかな流れをつかんでおくこと。次回対象となる項目については各授業の終了時に説明する。 ・復習(4時間):講義で取り上げた重要なポイントを中心に、見直し、論点を整理すること。	
授業計画	
第1回	ガイダンス 準備学習:シラバスを読んで受講上の注意点について事前に調べておく
第2回	論文テーマ決め 準備学習:前回の講義で最後に伝えた内容を予習する
第3回	論文要旨作成 準備学習:前回の講義で最後に伝えた内容を予習する
第4回	論文要旨作成 準備学習:前回の講義で最後に伝えた内容を予習する
第5回	論文要旨作成 準備学習:前回の講義で最後に伝えた内容を予習する
第6回	先行研究調査 準備学習:前回の講義で最後に伝えた内容を予習する
第7回	先行研究調査 準備学習:前回の講義で最後に伝えた内容を予習する
第8回	論文組み立て 準備学習:前回の講義で最後に伝えた内容を予習する
第9回	論文組み立て 準備学習:前回の講義で最後に伝えた内容を予習する
第10回	論文組み立て 準備学習:前回の講義で最後に伝えた内容を予習する

2026 北洋大学		
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科
区分		演習科目 演習科目
科目名		専門ゼミナールⅣ(山中)
第11回	論文組み立て 準備学習:前回の講義で最後に伝えた内容を予習する	
第12回	自主研究(課題に対して独自研究し、発表する) 準備学習:前回の講義で最後に伝えた内容を予習する	
第13回	論文(緒言・目的・研究方法)確認仕上げ 準備学習:前回の講義で最後に伝えた内容を予習する	
第14回	自主研究(課題に対して独自研究し、発表する) 準備学習:前回の講義で最後に伝えた内容を予習する	
第15回	論文(緒言・目的・研究方法)発表 準備学習:前回の講義で最後に伝えた内容を予習する	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	100	評価方法:講義内課題(論文組み立て) 評価割合:講義内レポート課題(100%)
その他	0	

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		演習科目 演習科目					
科目名		専門ゼミナールⅣ(末富)					
副題							
対象	3年、4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	必修
種類	演習	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2021	教室	C319	担当教員	末富 弘		
到達目標							
・北海道の各地域の特徴や経済の現状を説明できる。 ・課題を承知して、具体的な活性化策を提言する。 ・活性化策を実現する企業のビジネスプランを作成する。							
成績評価の方法							
・合計100点で、60点以上の場合に単位を付与する。 ・ゼミの各回の理解度・学習態度:最高45点(1～3点×15回) ・ビジネスプランの完成度:最高55点 ・5回以上の欠席は単位を認めない。							
テキスト							
参考資料: 北海道「北海道の現状と課題」 北海道経済同友会「北海道の未来を拓くヒトづくりー食・観光の針路を踏まえー」 日本政策金融公庫「創業の手引」 ドリームゲート「ビジネスプランテンプレート」							
その他							
実務家教員による科目 1977～1998 北海道拓殖銀行 (1986～1988 北海道出向) 1998～2011 北洋銀行 (2000～2007 北海道TLO出向) 2020～ 苫小牧信用金庫非常勤アドバイザー							
講義内容							
各種資料から北海道の現状を確認し、課題を発見する。 その課題の解決の為に何を行うかの提言書を作成する。							
受講登録以前に準備すること							
北海道のHPの以下の部分を閲覧し、北海道地域の状況等について認識しておく。 <a href="https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/fs/6/8/8/8/2/9/8/_/14_%E3%80%90%E8%B3%87%E6%96%993-2%E3%80%912%E7%AB%A0(P4`8)%E4%BF%AE%E6%AD%A3.pdf">https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/fs/6/8/8/8/2/9/8/_/14_%E3%80%90%E8%B3%87%E6%96%993-2%E3%80%912%E7%AB%A0(P4`8)%E4%BF%AE%E6%AD%A3.pdf							
取得可能な資格							
特になし。							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	演習科目 演習科目
科目名	専門ゼミナールⅣ(末富)
教員や外部専門家が、ゼミの進捗に合わせて指導を行う。 (復習)ゼミ終了後は作成した部分について見直し、必要であれば修正する。(2時間) (予習)ゼミ前には、当日の内容についてあらかじめ理解しておく。(ゼミを効果的に進めるため)(2時間)	
授業計画	
第1回	オリエンテーション
第2回	北海道経済の現状と課題について学修し、説明できるようにする。(1) SWOT分析:SWOT分析とは、自社(地域)の内部環境と外部環境を「強み」「弱み」「機会」「脅威」の4つの要素で分析し、企業(地域)の現状を把握し効果的な戦略を策定するためのフレームワークです。
第3回	北海道経済の現状と課題について学修し、説明できるようにする。(2)
第4回	ビジネスモデルを検討する。①(課題解決からどのように利益を得るシステムを考える)
第5回	ビジネスモデルを検討する。②(課題解決からどのように利益を得るシステムを考える)
第6回	資金計画を検討する。①
第7回	資金計画を検討する。②
第8回	収支計画を検討する。①(売上予測)
第9回	収支計画を検討する。②(経費予測)
第10回	創業の基礎知識を確認する。(許認可等)

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	演習科目 演習科目	
科目名	専門ゼミナールⅣ(末富)	
第11回	第一次ビジネスプランを作成する。①	
第12回	第一次ビジネスプランを作成する。②	
第13回	第一次ビジネスプランについて評価を受ける。	
第14回	第二次ビジネスプランを作成する。	
第15回	第二次ビジネスプランについて評価を受ける。	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	100	合計100点で、60点以上の場合に単位を付与する。 ・ゼミの各回の理解度・学習態度:最高45点(1～3点×15回) ・ビジネスプランの完成度:最高55点 ・5回以上の欠席は単位を認めない。
その他	0	

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		演習科目 演習科目					
科目名		専門ゼミナールⅣ(黄)					
副題							
対象	3年、4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	必修
種類	演習	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2021	教室	C317	担当教員	黄 美花		
到達目標							
・談話分析の主な理論と用語を理解し、自分の言葉で説明できる。 ・実際の談話データを収集し、文字起こし、分析を行う初歩的な手法が使える。 ・日常の言語使用に潜む力関係や社会的背景に気づき、言語を客観的に眺める視点を持つことができる。							
成績評価の方法							
授業への参加度30%(2点×15回)、中間課題(データ収集＋文字起こし＋分析)40%(20点×2回)、最終発表30%(スライド10%＋プレゼン20%)により総合的に評価する。							
テキスト							
・指定テキストは特になし。 ・参考文献は、授業中に適宜紹介する。							
その他							
特になし							
講義内容							
談話研究の基礎理論、データ収集方法、文字化作業、データ分析とその記述法の内容を取り上げる。							
受講登録以前に準備すること							
談話研究に関する論文を5篇以上調べ、読んでくること。							
取得可能な資格							
特になし							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	演習科目 演習科目
科目名	専門ゼミナールⅣ(黄)
・文字起こしトレーニングを早い段階で導入する(スマホ録音、エクセル集計作業等) ・グループワークでデータ分析の内容を共有し、議論する方法で進める。 ・文字化・記号化等の練習に、各自で週4時間程度の作業が必要となる。	
授業計画	
第1回	オリエンテーション(*必ずご参加ください) 談話、談話分析とは何か
第2回	談話の構造、談話の機能
第3回	談話とコミュニケーション
第4回	インタビュー談話
第5回	テーマ設定、発表
第6回	データの収集方法
第7回	文字化・記号化①
第8回	文字化・記号化②
第9回	分析法とその記述法①
第10回	分析法とその記述法②

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	演習科目 演習科目	
科目名	専門ゼミナールⅣ(黄)	
第11回	ペアワーク データ分析共有	
第12回	グループワーク データ分析共有	
第13回	テーマ発表①	
第14回	テーマ発表②	
第15回	最終発表、フィードバック	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	70	授業への参加度30%(2点×15回)、中間課題(データ収集＋文字起こし＋分析)40%(20点×2回)
その他	30	最終発表30%(スライド10%＋プレゼン20%)

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		演習科目 演習科目					
科目名		卒業研究秋(黄)					
副題							
対象	4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	必修
種類	演習	時間数		単位	6	授業回数	30
カリキュラム	2021	教室		担当教員	黄 美花		
到達目標							
・自ら問題意識を持ち、テーマ設定ができる。 ・適切な文献を収集し、まとめることができる。 ・学術的な文章として卒業論文を執筆、完成できる。							
成績評価の方法							
授業への参加度15%(0.5点×30回)、中間提出物15%(5点×3回)、授業内での発表20%(5点×4回)、論文の出来具合50%により総合的に評価する。							
テキスト							
指定テキストは特になし。 参考文献は、授業中適宜紹介する。							
その他							
特になし							
講義内容							
論文を仕上げていく。							
受講登録以前に準備すること							
就職、進学等進路を念頭において、一年間の全体計画を考えてくる。							
取得可能な資格							
特になし							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	演習科目 演習科目
科目名	卒業研究秋(黄)
講義と演習 先行文献を読み、データを収集する等作業に毎週7時間程度必要となる。	
授業計画	
第1回	オリエンテーション(*必ずご参加ください) 卒論とは何か
第2回	テーマの検討、生成AIの問題
第3回	良い問いを立てるための演習 テーマの精緻化
第4回	文献の探し方
第5回	先行研究の書き方
第6回	先行研究のまとめ①
第7回	先行研究のまとめ②
第8回	研究方法論の選択
第9回	データ収集の設計
第10回	データ収集・分析の基礎

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	演習科目 演習科目
科目名	卒業研究秋(黄)
第11回	文字化・記号化
第12回	目次案の作成
第13回	序論の書き方(背景、目的、問い)
第14回	序論のまとめ、発表
第15回	序論のフィードバック
第16回	執筆のルールと表現技法 引用、注記、参考文献の形式
第17回	論文の執筆とフィードバック①
第18回	論文の執筆とフィードバック②
第19回	論文の執筆とフィードバック③
第20回	論文の執筆とフィードバック④
第21回	ペアワーク(学生同士でコメント)①
第22回	ペアワーク(学生同士でコメント)②

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	演習科目 演習科目	
科目名	卒業研究秋(黄)	
第23回	教員からのフィードバック①	
第24回	教員からのフィードバック②	
第25回	推敲と校正①(全体)	
第26回	推敲と校正②(日本語表現等)	
第27回	論文完成のための最終調整①	
第28回	論文完成のための最終調整②	
第29回	提出準備(形式、提出方法等の確認)	
第30回	最終確認、提出完了	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	50	授業への参加度15%(0.5点×30回)、中間提出物15%(5点×3回)、授業内での発表20%(5点×4回)
その他	50	論文の出来具合

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		演習科目 演習科目					
科目名		卒業研究秋(種石)					
副題							
対象	4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	必修
種類	演習	時間数		単位	6	授業回数	30
カリキュラム	2021	教室		担当教員	種石 悠		
到達目標							
卒業論文について、研究テーマを決定し、研究方法、論旨の展開の仕方について、本学の求める水準に達することができるようにする。 これまでの学修を総括する内容を、研究に盛り込むことができるようにする。 論文としての体裁を整えることができるようにする。							
成績評価の方法							
各講義内の課題(3点×15回、45%) 卒業論文(55点、55%)							
テキスト							
特になし							
その他							
特になし							
講義内容							
卒業論文の研究テーマについて、問いの立て方、先行研究のまとめ方、調査の仕方、データの集め方、分析の仕方、論旨の組み立て方、考察と結論の書き方について指導する。							
受講登録以前に準備すること							
卒業論文の研究テーマを考えておくこと。							
取得可能な資格							
特になし							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	演習科目 演習科目
科目名	卒業研究秋(種石)
初回は卒業論文の研究テーマについて各自発表し、議論しながらテーマを絞り込む。2回目以降は毎回、卒業論文の執筆に向けた課題を出すので、まとめた課題を講義で発表し、整えてゆく。 毎回の講義の前に出した課題について、自分で調べながら4時間をかけて文章にまとめる。講義後は、指導した内容に沿って3時間をかけて、まとめた文章を修正する。	
授業計画	
第1回	ガイダンス
第2回	卒業論文の研究テーマ発表と議論
第3回	卒業論文の問題設定
第4回	卒業論文の問題設定
第5回	関連する先行研究のまとめ
第6回	関連する先行研究のまとめ
第7回	研究史の執筆と発表
第8回	研究史の執筆と発表
第9回	調査・分析の目的について
第10回	調査・分析の目的について

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	演習科目 演習科目
科目名	卒業研究秋(種石)
第11回	調査・分析の方法について
第12回	調査・分析の方法について
第13回	データをどのようにして集めるか
第14回	データをどのようにして集めるか
第15回	集めたデータをどのように分析するか
第16回	集めたデータをどのように分析するか
第17回	分析結果をどのようにまとめるか
第18回	分析結果をどのようにまとめるか
第19回	分析結果を解釈・考察する
第20回	分析結果を解釈・考察する
第21回	分析結果の解釈をまとめる
第22回	分析結果の解釈をまとめる

2026 北洋大学		
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科
区分		演習科目 演習科目
科目名		卒業研究秋(種石)
第23回	分析結果の考察	
第24回	分析結果の考察	
第25回	考察結果をまとめる	
第26回	考察結果をまとめる	
第27回	結論をまとめる	
第28回	結論をまとめる	
第29回	論文の体裁を整える	
第30回	論文の体裁を整える	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	45	各講義内の課題 3点×15回
その他	55	卒業論文 55点

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		演習科目 演習科目					
科目名		卒業研究秋(山中)					
副題							
対象	4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	必修
種類	演習	時間数		単位	6	授業回数	30
カリキュラム	2021	教室		担当教員	山中 慎		
到達目標							
・論文を順序だてた(緒言・目的・研究方法・考察)組み立てができる ・パワーポイントを使った発表ができる							
成績評価の方法							
評価方法:論文の完成 評価割合:論文の完成(100%)・講義内での提出物にて評価する							
テキスト							
特になし							
その他							
特になし							
講義内容							
・卒業論文完成に向けた仮説・検証を繰り返す。							
受講登録以前に準備すること							
必要なもの パソコン・タブレット等入力可能なもの							
取得可能な資格							
なし							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	演習科目 演習科目
科目名	卒業研究秋(山中)
アクティブラーニング (問答法・ディスカッション・実習・グループディスカッション) 1回の講義について ・予習(3,5時間):講義で取り上げる内容などにより、講義のおおまかな流れをつかんでおくこと。次回対象となる項目については各講義の終了時に説明する。 ・復習(3,5時間):講義で取り上げた重要なポイントを中心に、見直し、論点を整理すること。	
授業計画	
第1回	ガイダンス 準備学習:シラバスを読んで受講上の注意点について事前に調べておく
第2回	論文作成(3年時振り返り) 準備学習:前回の講義で最後に伝えた内容を予習する
第3回	論文作成(組み立て) 準備学習:前回の講義で最後に伝えた内容を予習する
第4回	論文作成(組み立て) 準備学習:前回の講義で最後に伝えた内容を予習する
第5回	論文作成(組み立て) 準備学習:前回の講義で最後に伝えた内容を予習する
第6回	論文作成(アンケート実施・まとめ) 準備学習:前回の講義で最後に伝えた内容を予習する
第7回	論文作成(アンケート実施・まとめ) 準備学習:前回の講義で最後に伝えた内容を予習する
第8回	論文作成(アンケート実施・まとめ) 準備学習:前回の講義で最後に伝えた内容を予習する
第9回	論文作成(アンケート実施・まとめ) 準備学習:前回の講義で最後に伝えた内容を予習する
第10回	論文作成(分析) 準備学習:前回の講義で最後に伝えた内容を予習する

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	演習科目 演習科目
科目名	卒業研究秋(山中)
第11回	論文作成(分析) 準備学習: 前回の講義で最後に伝えた内容を予習する
第12回	論文作成(分析) 準備学習: 前回の講義で最後に伝えた内容を予習する
第13回	論文作成 準備学習: 前回の講義で最後に伝えた内容を予習する
第14回	論文作成 準備学習: 前回の講義で最後に伝えた内容を予習する
第15回	論文作成(中間発表: パワーポイントによる発表) 準備学習: 前回の講義で最後に伝えた内容を予習する
第16回	論文作成(中間発表: パワーポイントによる発表) 準備学習: 前回の講義で最後に伝えた内容を予習する
第17回	論文作成(修正期間) 準備学習: 前回の講義で最後に伝えた内容を予習する
第18回	論文作成(修正期間) 準備学習: 前回の講義で最後に伝えた内容を予習する
第19回	論文作成(修正期間) 準備学習: 前回の講義で最後に伝えた内容を予習する
第20回	論文作成(修正期間) 準備学習: 前回の講義で最後に伝えた内容を予習する
第21回	論文作成(本発表: パワーポイントによる発表) 準備学習: 前回の講義で最後に伝えた内容を予習する
第22回	論文作成(本発表: パワーポイントによる発表) 準備学習: 前回の講義で最後に伝えた内容を予習する

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	演習科目 演習科目	
科目名	卒業研究秋(山中)	
第23回	論文作成(再修正期間) 準備学習:前回の講義で最後に伝えた内容を予習する	
第24回	論文作成(再修正期間) 準備学習:前回の講義で最後に伝えた内容を予習する	
第25回	論文作成(再修正期間) 準備学習:前回の講義で最後に伝えた内容を予習する	
第26回	論文作成(再修正期間) 準備学習:前回の講義で最後に伝えた内容を予習する	
第27回	論文作成(本発表:パワーポイントによる発表) 準備学習:前回の講義で最後に伝えた内容を予習する	
第28回	論文作成(本発表:パワーポイントによる発表) 準備学習:前回の講義で最後に伝えた内容を予習する	
第29回	論文作成(修正期間) 準備学習:前回の講義で最後に伝えた内容を予習する	
第30回	論文作成(本発表:提出) 準備学習:前回の講義で最後に伝えた内容を予習する	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	100	評価方法:論文の完成 評価割合:論文の完成(100%)
その他	0	

2026 北洋大学							
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科						
区分	演習科目 演習科目						
科目名	卒業研究秋(高橋)						
副題							
対象	4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	必修
種類	演習	時間数		単位	6	授業回数	30
カリキュラム	2021	教室		担当教員	高橋 あすか		
到達目標							
- 卒業論文の適切なテーマを設定し、自ら問いを立てて論理的に考察・表現し論じることができる。 - 先行研究や文献を収集・分析し、適切な研究方法を選択して研究計画を立案できる。 - 研究成果を自分の言葉でまとめ、論文として章立てや全体構成を整えることができる。							
成績評価の方法							
レポート: 50% (10点×5回) 論文: 50%							
テキスト							
酒井 聡樹 (2017)『これからレポート・卒論を書く若者のために 第2版』共立出版							
その他							
授業計画は、学生の理解度および習熟度の状況に応じて変更する場合がある。本授業では、AIツール及び翻訳ツールの使用を認めない。AIツール又は翻訳ツールを使用して課題、レポート、卒業論文、発表資料等を作成し、それを自らの成果物として提出した場合は不正行為とみなし、単位を認定しない。また、提出物が受講者本人の授業内での言語運用能力や学習状況と著しく一致しないと教員が判断した場合は、不正行為として取り扱うことがある。							
講義内容							
本講義では、学生が自ら研究課題を設定し、テーマ選定・研究計画・資料収集・分析方法を学びながら主体的に研究を進める。進捗状況の発表や報告会を通じて質疑応答を行い、教員の助言を受けつつ成果を論文としてまとめる。							
受講登録以前に準備すること							
毎回の授業には、テキストを必ず準備のうえ持参すること。また、パソコン(スマートフォンは使用不可)は授業内容に応じて使用するため、必要に応じて持参すること。							
取得可能な資格							
特になし							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	演習科目 演習科目
科目名	卒業研究秋(高橋)
学生が主体となり、各自が研究課題を設定し、先行研究の調査、研究方法の検討、資料収集を通じて論文執筆を進める。授業内での発表や相互のフィードバックを通じて研究を深化させ、課外学習として毎週約7時間の予習・復習に取り組むことが必要。	
授業計画	
第1回	論文を書く上での注意点と書き方
第2回	テーマ設定のための文献調査①
第3回	テーマ設定のための文献調査②
第4回	テーマ設定のための文献調査③
第5回	テーマ設定のための学術書を読む①
第6回	テーマ設定のための学術書を読む②
第7回	テーマ設定のための学術書を読む③
第8回	仮説の設定、基礎的な調査や研究方法の検討①
第9回	仮説の設定、基礎的な調査や研究方法の検討②
第10回	仮説の設定、基礎的な調査や研究方法の検討③

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	演習科目 演習科目
科目名	卒業研究秋(高橋)
第11回	研究計画書の検討
第12回	研究計画書の作成
第13回	分析や調査①
第14回	分析や調査②
第15回	分析や調査③
第16回	先行研究の調査①
第17回	先行研究の調査②
第18回	先行研究の調査③
第19回	研究方法の確定①
第20回	研究方法の確定②
第21回	研究方法の確定③
第22回	アウトラインの作成①

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	演習科目 演習科目	
科目名	卒業研究秋(高橋)	
第23回	アウトラインの作成②	
第24回	仮説の見直し①	
第25回	仮説の見直し②	
第26回	論文執筆①	
第27回	論文執筆②	
第28回	論文執筆③	
第29回	論文執筆④	
第30回	論文執筆⑤	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	100	レポート: 50% (10点×5回) 論文: 50%
その他	0	

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		演習科目 演習科目					
科目名		卒業研究秋(末富)					
副題							
対象	4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	必修
種類	演習	時間数		単位	6	授業回数	30
カリキュラム	2021	教室		担当教員	末富 弘		
到達目標							
・実現可能なビジネスプランを策定する。 ・各種ビジネスプランコンテストに参加し、評価を受ける。 ・起業までの課題を認識し、解決に努める。							
成績評価の方法							
・合計100点で、60点以上の場合に単位を付与するが、ビジネスプランの提出が無い場合は単位を認めない。 ・ゼミの各回の理解度・学習態度:最高60点(30回×2点～各回の評価) ・ビジネスプランの完成度:最高40点(1回×40点～作成したビジネスプランの評価) ・5回以上の欠席は単位を付与しない。							
テキスト							
ドリームゲートの「事業計画書」(パワーポイント)を使用する。 日本政策金融公庫発行の以下の「創業の手引」をサブテキストとする。 https://www.jfc.go.jp/n/finance/sougyou/pdf/sougyou_tebiki_book_202406.pdf また、都度、参考資料等は提供する。							
その他							
実務家教員による科目 1977～1998 北海道拓殖銀行 (1986～1988 北海道出向) 1998～2011 北洋銀行 (2000～2007 北海道TLO出向) 2011～ 苫小牧信用金庫非常勤アドバイザー							
講義内容							
ドリームゲートの「事業計画書」にそって学修して作成していく。 都度、内容について確認し、指導するが、外部専門家の指導がある場合もある。 できあがった事業計画書は、各種ビジネスプランコンテストへの参加が可能なレベルまでブラッシュアップする。							
受講登録以前に準備すること							
日本政策金融公庫発行の以下の「創業の手引」を読み込み、創業までのイメージを上げる。 https://www.jfc.go.jp/n/finance/sougyou/pdf/sougyou_tebiki_book_202406.pdf							
取得可能な資格							
特になし。							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	演習科目 演習科目
科目名	卒業研究秋(末富)
ドリームゲートの「事業計画書」を作りこんでいく。 都度教員や外部専門家の指導を入れて、ブラッシュアップする。 毎週予習3時間、復習に4時間を当てる。事前配布された資料で3時間の予習(ゼミ前には、ゼミを効果的に進めるため当日の内容についてあらかじめ理解しておく)を行い、講義終了後に4時間の復習(ゼミ後には学修・作成した部分について見直し、必要であれば修正する)を行って補完する。	
授業計画	
第1回	オリエンテーション
第2回	起業の心構えについて学修する。
第3回	起業する業種について決める。
第4回	起業する背景(どうしてこの業種にしたか)と事業の使命・理念・目的を説明する。
第5回	サービスや製品の内容を決める。(1)
第6回	サービスや製品の内容を決める。(2)
第7回	事業の対象となる市場の規模や特徴をまとめ、説明する。(1)
第8回	事業の対象となる市場の規模や特徴をまとめ、説明する。(2)
第9回	事業の優位性(商品サービス、人材、立地、チャネル等)を調査する。
第10回	事業の優位性(商品サービス、人材、立地、チャネル等)をまとめ、説明する。

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	演習科目 演習科目
科目名	卒業研究秋(末富)
第11回	外部専門家の指摘を受け、修正する。(1)
第12回	外部専門家の指摘を受け、修正する。(2)
第13回	ビジネスモデルを検証する。(実現可能性、経営プランの内容)
第14回	マーケティング計画を作成する。
第15回	マーケティング計画を検証し、必要があれば修正して説明する。
第16回	短期的・中期的・長期的な事業目標を作成し、説明する。
第17回	事業の収支計画(売上・費用・利益等)を作成する。
第18回	事業の収支計画を確定し、説明する。
第19回	想定されるリスクを検証し、解決策を説明する。
第20回	必要な設備や運転資金を算定し、資金計画を策定する。
第21回	資金計画を確定し、説明する。
第22回	開業までのスケジュールを策定する。

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	演習科目 演習科目	
科目名	卒業研究秋(末富)	
第23回	サマリー(概要書)を1ページにまとめて作成する。	
第24回	外国人起業に関して学修する。	
第25回	外国人起業の課題や解消法について説明する。	
第26回	出来上がったビジネスプランについてゼミで発表し、意見を聴いたうえで必要があれば修正する。(1)	
第27回	出来上がったビジネスプランについてゼミで発表し、意見を聴いたうえで必要があれば修正する。(2)	
第28回	出来上がったビジネスプランについて外部専門家に対して発表し、意見を聴いたうえで必要があれば修正する。(1)	
第29回	出来上がったビジネスプランについて外部専門家に対して発表し、意見を聴いたうえで必要があれば修正する。(2)	
第30回	出来上がったビジネスプランについて外部専門家に対して発表し、意見を聴いたうえで必要があれば修正する。(3)	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	100	・合計100点で、60点以上の場合に単位を付与するが、ビジネスプランの提出が無い場合は単位を認めない。 ・ゼミの各回の理解度・学習態度:最高60点(30回×2点～各回の評価) ・ビジネスプランの完成度:最高40点(1回×40点～作成したビジネスプランの評価) ・5回以上の欠席は単位を付与しない。
その他	0	

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		演習科目 演習科目					
科目名		卒業研究秋(福本)					
副題							
対象	4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	必修
種類	演習	時間数		単位	6	授業回数	30
カリキュラム	2021	教室		担当教員	福本 達也		
到達目標							
卒業論文の適切なテーマを選び、自らが問いを立て、自らの考えを論理的に論じたり説明することができる。先行研究や文献資料などを収集、分析した結果について説明することができる。適切な研究方法を使用することができる。論文の適切な書き方を実践でき、各章を組み立て、全体の構成を整えた後、完成・提出することができる。							
成績評価の方法							
授業への貢献度(30%:0～2点評価X15回＝30点満点)、授業内の課題(30%:0～2点評価X15回＝30点満点)、論文(40%)などにより総合的に評価する。							
テキスト							
参考テキスト:新田誠吾著(2019)『これならできる!レポート・論文のまとめ方』株式会社すばる舎 その他の参考文献は授業中に紹介する。							
その他							
授業の内容・計画は学生の理解・習得の程度や論文作成の進捗状況などにより変更することがある。							
講義内容							
学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。 各自の研究計画・論文作成計画を立てさせ、報告書を提出させる。 学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。							
受講登録以前に準備すること							
卒業論文を作成できる知識と能力があることが望ましい。							
取得可能な資格							
特になし							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	演習科目 演習科目
科目名	卒業研究秋(福本)
毎回、学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。毎回課外学習(予・復習)として論文準備・作成をさせる。課外学習時間(予・復習)は毎週7時間程度必要。	
授業計画	
第1回	授業のオリエンテーション。今学期の授業の計画や予定についてのガイダンス。
第2回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。
第3回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。
第4回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。
第5回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。
第6回	学生各自の論文の研究背景、研究目的、先行研究、研究方法などについて発表できるよう指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。
第7回	学生各自の論文の研究背景、研究目的、先行研究、研究方法などについて発表できるよう指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。
第8回	学生各自の論文の研究背景、研究目的、先行研究、研究方法などについて発表できるよう指導をする。また研究計画書の作成について指導する。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。
第9回	学生各自の論文の研究背景、研究目的、先行研究、研究方法などについて発表できるよう指導をする。また研究計画書の作成について指導する。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。
第10回	学生各自の論文の研究背景、研究目的、先行研究、研究方法、研究計画に沿った論文作成について指導する。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	演習科目 演習科目
科目名	卒業研究秋(福本)
第11回	学生各自の論文の研究背景、研究目的、先行研究、研究方法、研究計画に沿った論文作成について指導する。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。
第12回	学生各自の論文の研究背景、研究目的、先行研究、研究方法、研究計画に沿った論文作成について指導する。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。
第13回	学生各自の論文の研究背景、研究目的、先行研究、研究方法、研究計画に沿った論文作成について指導する。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。
第14回	学生各自の論文の研究背景、研究目的、先行研究、研究方法、研究計画に沿った論文作成について指導する。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。
第15回	学生各自の論文の研究背景、研究目的、先行研究、研究方法、研究計画に沿った論文作成について指導する。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。
第16回	今学期の授業の計画や予定についてのガイダンス。
第17回	学生各自の論文の現在の進捗状況にて発表できるように助言・指導を行う。
第18回	学生各自の論文の現在の進捗状況にて発表できるように助言・指導を行う。
第19回	学生各自の論文の現在の進捗状況にて発表できるように助言・指導を行う。
第20回	学生各自の論文の現在の進捗状況にて発表できるように助言・指導を行う。
第21回	学生各自の論文の現在の進捗状況にて発表できるように助言・指導を行う。
第22回	学生各自の論文の現在の進捗状況にて発表できるように助言・指導を行う。

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	演習科目 演習科目	
科目名	卒業研究秋(福本)	
第23回	学生各自の論文の現在の進捗状況にて発表できるように助言・指導を行う。	
第24回	学生各自の論文を完成し提出できるように準備させる。学生各自の現在の進捗状況に応じてそれぞれ助言・指導を行う。	
第25回	学生各自の論文を完成し提出できるように準備させる。学生各自の現在の進捗状況に応じてそれぞれ助言・指導を行う。	
第26回	学生各自の論文を完成し提出できるように準備させる。学生各自の現在の進捗状況に応じてそれぞれ助言・指導を行う。	
第27回	学生各自の論文を完成し提出できるように準備させる。学生各自の現在の進捗状況に応じてそれぞれ助言・指導を行う。	
第28回	学生各自の論文を完成し提出できるように準備させる。学生各自の現在の進捗状況に応じてそれぞれ助言・指導を行う。	
第29回	学生各自の論文を完成し提出できるように準備させる。学生各自の現在の進捗状況に応じてそれぞれ助言・指導を行う。	
第30回	学生各自の論文を完成し提出できるように準備させる。学生各自の現在の進捗状況に応じてそれぞれ助言・指導を行う。	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	60	各学期5回以上の欠席は単位認定できない。 授業への貢献度(30%):授業での説明を聴く態度・姿勢、質問を行う度合いなどによって評価する。(毎回0～2点評価)X15回＝30点満点(評価30%) 授業内の課題(30%):論文の準備・作成を確実にしているか、正確にできているかによって評価する。(毎回0～2点評価)X15回＝30点満点(評価30%)
その他	40	論文提出。40点満点。選んだテーマ・内容について深く調査し分析して論文を作成しているかどうかで評価する。論文形式に則って論文を作成しているかどうかで評価する。

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		演習科目 演習科目					
科目名		卒業研究秋(田)					
副題							
対象	4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	必修
種類	演習	時間数		単位	6	授業回数	30
カリキュラム	2021	教室		担当教員	田 桃雨		
到達目標							
本授業の目的は、学生が自ら適切な研究テーマを設定し、問いを立てて論理的に考察する能力を養成することである。先行研究の分析と適切な研究方法の選択を通じて、学術的基礎力を習得させる。さらに、論文の構成や執筆規範に則り、これまでの学修の総括として研究成果をまとめあげ、学士課程における水準に達する論文の完成を目指す。							
成績評価の方法							
授業参加度 (30点): 各回の積極的な発言・参加態度を(0～1点) x 30回で評価。 授業内課題 (30点): 各回の課題(小レポート等)の達成度を(0～1点) x 30回で評価。 論文 (40点): 知識の統合と独自の考察に基づいて評価。							
テキスト							
特になし							
その他							
授業の内容・計画は学生の理解・習得の程度などにより変更することがある。							
講義内容							
指導教員との面談を通じて、研究の進捗状況を報告し、必要な文献や研究方法について指導を受けながら論文を執筆する。また、口頭試問に向けた発表の構成や説明方法についても確認を行い、審査に対応できるよう準備を進める。							
受講登録以前に準備すること							
特になし							
取得可能な資格							
特になし							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	演習科目 演習科目
科目名	卒業研究秋(田)
学生各自の学位論文作成を全面的に支援をする。授業では、研究テーマの設定、適切な研究方法と資料収集手法の選択、論文構成の策定について指導を行う。毎回、学生が自身の研究進捗を報告し、参加者全体での質疑応答を通じて研究内容を深化させる。また、論理的で規範的な執筆技術の習得を図る。学生は、毎週7時間程度の課外学習(文献講読、資料分析、草案執筆など)を必須とし、授業での指導と課外学習を循環させることで、着実な研究の完成を目指す。	
授業計画	
第1回	ガイダンス 論文の定義と学術的価値。論文と作文、レポート、要約の違い 学術論文に対する正しい認識を構築し、学習目標を明確にする。
第2回	論文の効率的な読み方と分析方法 良質な模範論文を精読する。タイトル、要旨、キーワード、序論、本文、結論、参考文献という論文の構造を分解して学ぶ。その論理的流れと立証方法を分析する。論文構造の直感的な理解を築く。
第3回	研究倫理と学術規範 学問的誠実さの重要性について説明する。剽窃とは何か、文献の正しい引用方法を学ぶ。一般的な学術上の不正行為とその結果を紹介する。執筆の基本線となる厳格な学術道徳観を確立する。
第4回	研究テーマの確定と研究問題の発見 授業学習、社会現象、個人的興味、文献上の空白などから、可能性のある研究テーマを見つける方法。広範な「方向性」を、具体的で実行可能な「研究問題」に焦点を絞る方法を学ぶ。
第5回	文献検索と管理ツール入門 学術データベースを紹介する。キーワードを使った効率的な検索方法を学ぶ。文献管理ツールを導入し、文献の分類と閲読ノートの管理方法を学ぶ。学術リソースを入手する基本的スキルを習得し、研究効率を高める。
第6回	文献レビューの書き方 文献レビューの目的は羅列ではなく、評議すること。既存研究を評析してその貢献と不足点を論じる方法を学び、自身の研究の切入点と価値を見出す。
第7回	研究手法の種類と選択(I) 事例研究、インタビュー、観察、テキスト分析など、一般的な質的研究手法を紹介する。その適用場面と長所・短所を解説する。
第8回	研究手法の種類と選択(II) アンケート調査、実験法、計量モデルなど、一般的な量的研究手法を紹介する。その基本論理と設計上の要点を解説する。
第9回	研究計画と研究計画書の設計 研究計画書の核心要素:研究背景と問題、文献レビュー、研究意義、研究方法、研究計画、期待される成果を解説する。学生自身の論文の「設計図」を構築する指導を行う。
第10回	研究計画書模擬発表と相互評価 学生が自身の研究計画書を発表し、教師と学生が質問とコメントを行う。研究問題の価値、方法の実現可能性、論理の厳密性に焦点を当てる。

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	演習科目 演習科目
科目名	卒業研究秋(田)
第11回	論文アウトラインの書き方 研究計画書から詳細なアウトラインへ。章節の設計、論点の配分、論拠の計画方法を解説し、論文の構造が層次的で明確、論理がスムーズであることを確保する。
第12回	データ収集と整理の技術 選択した方法に基づき、データ/資料収集の具体的な流れ、技術、および遭遇する可能性のある落とし穴を解説する。分析の準備のために、データを清洗し整理する方法を学ぶ。
第13回	序論の執筆要点 序論の構造を分解する: 宏観的背景→具体的問題→文献の空白→本研究の目的、方法、意義→論文構造の紹介。読者を引き付け、研究価値を明確に説明できる序論を書く。
第14回	理論的枠組みの構築 自身の分析を支える適切な理論を選択し活用する方法を解説し、研究を無根拠なものにしない。
第15回	本文執筆(I) — 論証の技術 学術論証の基本単位を学ぶ: 論点の提示→論拠(データ、事例、文献)の提供→分析→結論の導出。記述のみで論証がない状態を避ける。
第16回	本文執筆(II) — 段落と接続 接続語や接続文を使用し、段落間、章節間の流れを滑らかにする方法を学ぶ。
第17回	結果/発見の提示 データと核心的な発見を効果的に提示するため、表、図等多種の形式を使用する方法を学ぶ。
第18回	考察の深掘り 「結果」をどう解釈するかを解説する。
第19回	結論と要旨の執筆 結論部分で全文を要約し、貢献を重申し、不足点と将来の方向性を指摘する方法。要旨で極めて簡潔な言語で全文の精華を概括する方法を学ぶ。
第20回	論文執筆における一般的な論理的落とし穴と回避策 循環論法、因果関係の逆転、一般化の誤りなど、一般的な論理エラーを分析し、修正策略を提供する。
第21回	中間チェックと初稿講評 学生が論文初稿(或いは核心章)を提出し、教師が集中講評を行い、共通及び個別の問題点を指摘する。
第22回	学術的語言表現の規範 学術写作の文体、時制、人称の書き方を学ぶ。口語的、情緒的表現を避ける。正確、明確、簡潔、客観的であることを追求する。

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	演習科目 演習科目	
科目名	卒業研究秋(田)	
第23回	論文修正の効果的な進め方 宏観的構造と論理を調整、段落と文を修正、言語と形式をチェック。	
第24回	ピアレビュー(相互評価)と自己修正ワークショップ 学生が論文を交換し、チェックリストに従って相互評価を行う。読者の視点から相手の論文の問題点を発見すると同時に、自身の写作も反省する。	
第25回	参考文献の規範と排版 指定の引用スタイルを深く学ぶ。	
第26回	図、表、付録の形式要求 図表のタイトル、番号、出典標注の規範を解説する。	
第27回	卒業論文答弁の流程と準備 答弁の全過程を詳しく説明する。	
第28回	模擬答弁演習(I) 模擬答弁を行い、完全な流程を体験する。教師と学生が評価員役を務めて質問する。	
第29回	模擬答弁演習(II)と一般的質問への対応策略 第一回演習へのフィードバックに基づき、第二回演習を行う。高頻質問への応答思路と言葉遣いを集中的に解説する。	
第30回	論文形式の最終確認と提出 学校の公式形式要求に照らし合わせて、表紙、宣言、ヘッダー/フッター、行間、フォント、ページ番号等、全ての詳細を逐一チェックする。	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	60	授業参加度(30点): 各回の積極的な発言・参加態度を(0～1点)x 30回で評価。 授業内課題(30点): 各回の課題(小レポート等)の達成度を(0～1点)x 30回で評価。
その他	40	論文(40点): 知識の統合と独自の考察に基づいて評価。

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		演習科目 演習科目					
科目名		卒業研究秋(中田)					
副題							
対象	4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	必修
種類	演習	時間数		単位	6	授業回数	30
カリキュラム	2021	教室		担当教員	中田 和則		
到達目標							
卒業論文の適切なテーマを選び、自らが問いを立て、自らの考えを論理的に表現することができる。先行研究や文献資料などを収集、分析する能力を身につけることができる。適切な研究方法を選び使用できる。論文の適切な書き方を理解し、各章を組み立て、全体の構成を整えた後、完成・提出することができる。							
成績評価の方法							
①授業への参加度、授業での説明を聴く態度・姿勢、質問を行う度合いなど(50%)。②論文について選んだテーマ・内容について深く調査し分析して論文を作成しているかどうか、論文形式に則って論文を作成しているかどうか(50%)で評価する。5回以上の欠席は単位認定しない。							
テキスト							
参考テキスト:新田誠吾著(2019)『これならできる!レポート・論文のまとめ方』株式会社すばる舎 その他の参考文献は授業中に紹介する。							
その他							
授業の内容・計画は学生の理解・習得の程度などにより変更することがある。							
講義内容							
学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。 各自の研究計画・論文作成計画を立てさせ、報告書を提出させる。 学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。							
受講登録以前に準備すること							
卒業論文を作成できる知識と能力があることが望ましい(日本語能力検定N2以上であること)。							
取得可能な資格							
特になし。							
授業の方法							

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	演習科目 演習科目	
科目名	卒業研究秋(中田)	
毎回、学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。毎回課外学習(予・復習)として論文準備・作成をさせる。課外学習時間(予・復習)は毎週7時間程度必要。		
授業計画		
第1回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。	
	担当教員	中田 和則
第2回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。	
	担当教員	中田 和則
第3回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。	
	担当教員	中田 和則
第4回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。	
	担当教員	中田 和則
第5回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。	
	担当教員	中田 和則
第6回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。	
	担当教員	中田 和則
第7回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。	
	担当教員	中田 和則
第8回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。	
	担当教員	中田 和則

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	演習科目 演習科目	
科目名	卒業研究秋(中田)	
第9回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。	
	担当教員	中田 和則
第10回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。	
	担当教員	中田 和則
第11回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。	
	担当教員	中田 和則
第12回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。	
	担当教員	中田 和則
第13回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。	
	担当教員	中田 和則
第14回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。	
	担当教員	中田 和則
第15回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。	
	担当教員	中田 和則
第16回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。	
	担当教員	中田 和則
第17回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。	
	担当教員	中田 和則

2026 北洋大学		
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科
区分		演習科目 演習科目
科目名		卒業研究秋(中田)
第18回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。	
	担当教員	中田 和則
第19回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。	
	担当教員	中田 和則
第20回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。	
	担当教員	中田 和則
第21回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。	
	担当教員	中田 和則
第22回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。	
	担当教員	中田 和則
第23回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。	
	担当教員	中田 和則
第24回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。	
	担当教員	中田 和則
第25回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。	
	担当教員	中田 和則
第26回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。	
	担当教員	中田 和則

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	演習科目 演習科目	
科目名	卒業研究秋(中田)	
第27回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。	
	担当教員	中田 和則
第28回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。	
	担当教員	中田 和則
第29回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。	
	担当教員	中田 和則
第30回	学生各自の論文テーマの選定、研究分析方法、資料収集、論文執筆の準備などについて指導をする。学生各自の進捗状況の発表をさせ、状況に応じた助言・指導を行う。	
	担当教員	中田 和則
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	50	授業への参加度、授業での説明を聴く態度・姿勢、質問を行う度合いなどによって評価する(50%) 5回以上の欠席は単位認定しない。
その他	50	論文提出で、選んだテーマ・内容について深く調査し分析して論文を作成しているかどうか,,論文形式に則って論文を作成しているかどうかで評価する(50%)。

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		演習科目 演習科目					
科目名		卒業研究秋(西川)					
副題							
対象	4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	必修
種類	演習	時間数		単位	6	授業回数	30
カリキュラム	2021	教室		担当教員	西川 祥一		
到達目標							
・ジャーナリズム、メディア論、地域創生などの分野を中心としたテーマで、各自の問題意識に沿って分析、考察ができる。 ・先行研究を調べ、適切な研究方法を見つけたうえで、研究計画書を書ける。 ・研究結果をまとめ、論理的な文章で論文を書くことができる。							
成績評価の方法							
授業内での積極的な参加(30%)・報告会での発表(30%)・論文などのまとめ(40%)で評価します。							
テキスト							
佐渡島沙織、吉野亜矢子(2021)『これから研究を書くひとのためのガイドブック(第2版)』ひつじ書房							
その他							
授業時間外の学修としては、文献の読解、データの収集などすすめながら、計画的に論文の執筆を行う。							
講義内容							
基本的には指導教員と対面で、論文の執筆状況を説明、必要な文献や調査・研究方法のアドバイスを受けながら、執筆を進める。中間報告でのプレゼンの方法も検討する。							
受講登録以前に準備すること							
なし							
取得可能な資格							
なし							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	演習科目 演習科目
科目名	卒業研究秋(西川)
基本的には対面で進捗状況を説明し、受講者全員でディカッションを行い、指導教員からアドバイスを受ける。 ただ、卒業研究の指導は、学生が決める研究テーマ、文献研究か実証研究かなどの研究スタイル、学生の進捗状況などによって、担当教員の指導も異なってくる。授業計画は、随時変更されることを了解してほしい。毎週7時間程度は、予習や復習が必要。	
授業計画	
第1回	テーマの設定、今後の進め方について説明
第2回	テーマ設定のための文献調査①
第3回	テーマ設定のための文献調査②
第4回	テーマ設定のための文献調査③
第5回	テーマ設定のための学術書を読む①
第6回	テーマ設定のための学術書を読む②
第7回	テーマ設定のための学術書を読む③
第8回	仮説の設定、基礎的な調査や研究方法の検討
第9回	仮説の設定、基礎的な調査や研究方法の検討
第10回	研究計画書の検討

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	演習科目 演習科目
科目名	卒業研究秋(西川)
第11回	研究計画書の検討
第12回	研究計画書の作成
第13回	研究計画書の作成
第14回	分析や調査②
第15回	分析や調査③
第16回	先行研究の調査
第17回	先行研究の調査
第18回	先行研究の調査
第19回	研究方法の確定
第20回	研究方法の確定
第21回	研究方法の確定
第22回	アウトラインの作成

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	演習科目 演習科目	
科目名	卒業研究秋(西川)	
第23回	アウトラインの作成	
第24回	仮説の見直し	
第25回	仮説の見直し	
第26回	アウトラインと論文修正	
第27回	アウトラインと論文修正	
第28回	最終確認	
第29回	最終確認	
第30回	論文の読みなおし、提出	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	100	授業内での積極的な参加(30%)・報告会での発表(30%)・論文などのまとめ(40%)
その他	0	

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		演習科目 演習科目					
科目名		卒業研究秋(星野)					
副題							
対象	4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	必修
種類	演習	時間数		単位	6	授業回数	30
カリキュラム	2021	教室		担当教員	星野 芳輝		
到達目標							
卒業論文の完成							
成績評価の方法							
講義への積極的参加1%×15回(15%) 卒業論文中間報告20%×3回(60%) 卒業論文 または 学期末報告書(25%)							
テキスト							
特になし。適宜指示する。							
その他							
講義内容やスケジュールは変更になる可能性がある。							
講義内容							
卒業論文完成に向けた研究発表を中心としたディスカッションと指導。							
受講登録以前に準備すること							
自主的な研究(7時間以上)							
取得可能な資格							
特になし。							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	演習科目 演習科目
科目名	卒業研究秋(星野)
受講生と相談し、卒業論文完成に向けたディスカッション形式の講義。	
授業計画	
第1回	ガイダンスと講義計画
第2回	ゼミ
第3回	ゼミ
第4回	ゼミ
第5回	ゼミ
第6回	ゼミ
第7回	ゼミ
第8回	ゼミ
第9回	ゼミ
第10回	ゼミ

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	演習科目 演習科目
科目名	卒業研究秋(星野)
第11回	ゼミ
第12回	ゼミ
第13回	ゼミ
第14回	ゼミ
第15回	まとめ
第16回	ガイダンスと講義計画(新学期)
第17回	ゼミ
第18回	ゼミ
第19回	ゼミ
第20回	ゼミ
第21回	ゼミ
第22回	ゼミ

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	演習科目 演習科目	
科目名	卒業研究秋(星野)	
第23回	ゼミ	
第24回	ゼミ	
第25回	ゼミ	
第26回	ゼミ	
第27回	ゼミ	
第28回	ゼミ	
第29回	ゼミ	
第30回	まとめ	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	75	講義への積極的参加1%×15回(15%) 卒業論文中間報告20%×3回(60%)
その他	25	卒業論文 または 報告書(25%)

2026 北洋大学							
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科						
区分	演習科目 演習科目						
科目名	卒業研究秋(瀬名波)						
副題							
対象	4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	必修
種類	演習	時間数		単位	6	授業回数	30
カリキュラム	2021	教室		担当教員	瀬名波 栄潤		
到達目標							
優れた卒業論文を執筆できる。 自らが卒業研究のための課題を設定することができるようになる。 きちんと計画を遂行できるようになる。 質の高い論文執筆ができるようになる。							
成績評価の方法							
執筆計画の内容と達成状況							
テキスト							
特になし							
その他							
講義内容							
受講生は、「英語圏文学研究、映画研究、ジェンダー・セクシュアリティ論、DEI論」の中から、自らの課題を設定し、プロポーザルを提出、カレンダーを作成した上で、適宜発表を行う。							
受講登録以前に準備すること							
「英語圏文学研究、映画研究、ジェンダー・セクシュアリティ論、DEI論」分野についての授業を良好な成績で履修済であること。							
取得可能な資格							
特になし							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	演習科目 演習科目
科目名	卒業研究秋(瀬名波)
ゼミもしくは個人指導 予習と復習には最低でも2時間を捧げること	
授業計画	
第1回	イントロダクション
第2回	個人面談(面談内容とともに要予約)
第3回	個人面談(面談内容とともに要予約)
第4回	個人面談(面談内容とともに要予約)
第5回	個人面談(面談内容とともに要予約)
第6回	経過報告会
第7回	個人面談(面談内容とともに要予約)
第8回	個人面談(面談内容とともに要予約)
第9回	個人面談(面談内容とともに要予約)
第10回	経過報告会

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	演習科目 演習科目
科目名	卒業研究秋(瀬名波)
第11回	個人面談(面談内容とともに要予約)
第12回	個人面談(面談内容とともに要予約)
第13回	個人面談(面談内容とともに要予約)
第14回	個人面談(面談内容とともに要予約)
第15回	中間報告会
第16回	個人面談(面談内容とともに要予約)
第17回	個人面談(面談内容とともに要予約)
第18回	個人面談(面談内容とともに要予約)
第19回	個人面談(面談内容とともに要予約)
第20回	経過報告会
第21回	個人面談(面談内容とともに要予約)
第22回	個人面談(面談内容とともに要予約)

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	演習科目 演習科目	
科目名	卒業研究秋(瀬名波)	
第23回	個人面談(面談内容とともに要予約)	
第24回	個人面談(面談内容とともに要予約)	
第25回	経過報告会	
第26回	個人面談(面談内容とともに要予約)	
第27回	個人面談(面談内容とともに要予約)	
第28回	個人面談(面談内容とともに要予約)	
第29回	個人面談(面談内容とともに要予約)	
第30回	最終報告会	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	100	研究発表:タイムマネジメントと質
その他	0	

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		演習科目 演習科目					
科目名		卒業研究秋(杉山)					
副題							
対象	4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	必修
種類	演習	時間数		単位	6	授業回数	30
カリキュラム	2021	教室		担当教員	杉山 維彦		
到達目標							
・卒業論文作成のために必要な文献や資料を収集できるようになること ・前半では、仮テーマの設定と研究論文中の「研究動機や研究背景」などを作成できること ・後半は研究テーマを「観光・環境・ビジネス・観光事業」の4つに合致するものとし、日本における観光ビジネスの現状と課題、観光事業の経営問題等を考察できるようになること							
成績評価の方法							
レポート&プレゼン: 50% (10点×5回) 卒業論文: 50%							
テキスト							
これならできる!レポート・論文のまとめ方 / 新田誠吾 / 2019年 / すばる舎 / 978-4-7991-0837-6 / 1,650円(税込)							
その他							
個人でのプレゼンテーションを行ってもらう。 配布物(プリントなど)は、翌々回(次の次の回)までしか配布しないので、欠席する場合は注意! ゼミメンバーでディスカッションを行うことがあるので、欠席にした場合はその点数が無くなる。 よって、欠席した場合は、これらの情報や得点が得られないため欠席をしない様に。 欠席は厳しくチェックを行い、その時のプレゼンやワークの部分が大きく減点されることを理解した上で、参加すること。 また、期末試験に代わるレポートは卒業研究を意味する。							
講義内容							
本講義では、学生が自ら研究課題を設定し、テーマ選定・研究計画・資料収集・分析方法を学びながら主体的に研究を進める進捗状況の発表や報告会を通じて質疑応答を行い、教員の助言を受けつつ成果を論文として完成させる 教室でのディスカッション、プレゼンテーションに加え、ゼミ生単独での指導もある そのため、プライベートに影響する場合があるがセルフマネジメントとしての能力が必要となる 授業時間外で、計60時間の事前事後学習が必要 事前学習:フィールドワークの行先などについて詳細に調べる。(各2時間)							
受講登録以前に準備すること							
特になし							
取得可能な資格							
特になし							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	演習科目 演習科目
科目名	卒業研究秋(杉山)
学生主体が主体となり、各自が研究課題を設定し、先行研究の調査、研究方法の検討、資料収集を通じて論文執筆を進める授業内での発表や相互のフィードバックを通じて研究を深化させ、課外学習として毎週約7時間の予習・復習に取り組むことを必要とする	
授業計画	
第1回	プロローグ & ガイダンス
第2回	研究計画書を作成土台を作る
第3回	研究計画書を完成させる
第4回	研究計画発表会(各自プレゼン)
第5回	先行研究の発掘、過去の文献を探す
第6回	参考文献の検索・調査方法を学習し、図書館やインターネットで情報を収集する
第7回	仮説の設定と検証、論文構成と論理展開について、過去の文献例で学習する
第8回	教員とのディスカッションやゼミメンバーの意見より研究対象の大枠を形成する
第9回	収集した参考文献や先行研究などを精読し、その中から関心のある分野を選択し、卒論の方向性を決定する
第10回	研究分野の絞り込みから問題意識を涵養し、章立て(目次)を考える

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	演習科目 演習科目
科目名	卒業研究秋(杉山)
第11回	研究分野の絞り込みから問題意識を涵養し、レポート作成を開始する
第12回	本論の見直しを行い、可能な調査・観察・統計であるか再検討する
第13回	今後の研究計画のフローを再確認する
第14回	章立ての見直し(序論の手直し・本論の立て直し)
第15回	進捗状況について簡潔にまとめ、第1回中間報告する(各自プレゼン)
第16回	教員およびゼミメンバーでディスカッションを行い、他者の研究も共有し相互に意見し合う
第17回	引き続き教員およびゼミメンバーでディスカッションを行い、各自今後の研究方針を明確化する
第18回	簡易なレポートを完成し、提出する
第19回	提出されたレポートを共有し、ゼミメンバーでディスカッションをし自分の研究に結び付けてみる
第20回	研究結果を得るうえでの問題点に関して教員と意見交換を行う
第21回	問題点について再検討を行い、必要に応じ調査・観察・統計作りを再度検討する
第22回	参考文献・先行研究について再考し、再度レポートを手直しする

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	演習科目 演習科目	
科目名	卒業研究秋(杉山)	
第23回	第2回中間に向けた発表資料を作成する	
第24回	進捗状況やレポートの完成具合をまとめ、第2回中間報告する(各自プレゼン)	
第25回	卒業論文の土台となるレポートを手直しし、論文の体裁に直す	
第26回	論文に直したレポートを確認し、図表や参考文献の確認を行う	
第27回	教員およびゼミメンバーでディスカッションを行い、他者の研究も共有し相互に確認	
第28回	卒論発表会(各自プレゼン)	
第29回	卒論発表会の反省会	
第30回	エピローグ & まとめ(卒業論文提出)	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	100	レポート&プレゼン: 50% (10点×5回) 卒業論文: 50%
その他	0	

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		実習科目 実習科目					
科目名		地域創生B					
副題							
対象	2年、3年、4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	選択必修
種類	実習	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2021	教室	C204	担当教員	星野 芳輝		
到達目標							
地域活性化のための基礎知識の学習と、議論による発展的でより実効的な方法論の討究。 錦岡エリアの発展を考える。							
成績評価の方法							
積極的参加 1%×15回(15%) グループワークへの参加貢献度5%×15回(65%) グループ発表 10%×2(20%)							
テキスト							
特になし。適宜配布。							
その他							
講義内容は変更になる可能性がある。 後半はグループワークを中心に行う。積極的な学生同士の討論を行うことが可能な学生への受講を推奨。							
講義内容							
地域活性化のための基礎知識の学習と、議論による発展的でより実効的な方法論の討究。 錦岡エリアの発展を考える。 北洋大学を中心にした活性化案を考え、プレゼンを行う。							
受講登録以前に準備すること							
講義に必要な自学自習(週4時間程度)							
取得可能な資格							
特になし							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	実習科目 実習科目
科目名	地域創生B
グループワークを中心としたディスカッション方式と、講義による事前学習。	
授業計画	
第1回	ガイダンス 講義計画の説明
第2回	講義① 日本における地域と諸問題
第3回	講義②地域政策
第4回	講義③活性化政策を学ぶ 商店街の事例
第5回	講義④活性化政策を学ぶ 観光地化の事例
第6回	講義⑤苫小牧市の事例
第7回	グループワーク①
第8回	グループワーク②
第9回	グループワーク③
第10回	発表と議論①

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	実習科目 実習科目	
科目名	地域創生B	
第11回	グループワーク④	
第12回	グループワーク⑤	
第13回	グループワーク⑥	
第14回	発表と議論②	
第15回	全体のまとめ	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	80	積極的参加 1%×15回(15%) グループワークへの参加貢献度5%×15回(65%)
その他	20	グループ発表 10%×2(20%)

2026 北洋大学							
学部・学科		国際文化学部 キャリア創造学科					
区分		日本語教師(令和3(2021)年～令和7(2025)年) 日本語教師					
科目名		日本語学					
副題							
対象	全学年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	必修
種類	講義	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2021	教室	C204	担当教員	福本 達也		
到達目標							
・日本語に関する現象について理解でき、日本語学の概念や用語を使って説明できる。 ・日本語の特徴について理解でき、例を挙げながら論じることができる。							
成績評価の方法							
授業への積極的な参加(30点) 授業中に行う課題作成とその内容についての発表(2点×15回) 期末レポート(40点)							
テキスト							
太田陽子編著(2021)『超基礎・日本語教育のための日本語学』くろしお出版.							
その他							
授業の計画・内容は学生の理解・習得の程度などにより変更することがある。							
講義内容							
日本語教師になるには、ただ日本語を話せるだけではなく、日本語に関する深い知識とその知識を活かす応用力が必要である。この授業では日本語教育を念頭に置き、教科書を用いて日本語学の基礎を固めながら、日本語の現象について自ら分析・討論することで、日本語の知識を活かす応用力を高めることを目指す。							
受講登録以前に準備すること							
特にないが、日本語についての興味と関心を持つことが重要である。							
取得可能な資格							
この授業は日本語教師課程必修科目なので、この授業を履修し単位を修得することによって、日本語教員試験や日本語教育能力検定試験の合格を目指すことができる。							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	日本語教師(令和3(2021)年～令和7(2025)年) 日本語教師
科目名	日本語学
教科書の内容を確認したのち、関連する日本語のトピックについて演習や議論を行ったり、授業の内容に関する課題作成を学生にさせ発表させる。 予習として、各回の授業の前に教科書を熟読し、教科書の課題について考える(2時間)。復讐として、授業後は各課に出てきた用語や概念を振り返り、授業で取り上げた例の他にどのような例があるかを考え、まとめる(2時間)。それを次の授業時間に発表させる。	
授業計画	
第1回	ガイダンス 世界のなかの日本語
第2回	音声(1)―母音・子音
第3回	音声(2)―拍・アクセント・イントネーション
第4回	文字表記(1)―文字の種類
第5回	文字表記(2)―漢字に関する基礎知識
第6回	語彙・意味(1)―語の定義・語彙量・語構成・語種
第7回	語彙・意味(2)―類義語・多義語・言語間の意味のずれ
第8回	文法(1)―学校文法と日本語教育文法
第9回	文法(2)―日本語の文と助詞
第10回	文法(3)―時に関わる表現

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	日本語教師(令和3(2021)年～令和7(2025)年) 日本語教師	
科目名	日本語学	
第11回	文法(4)―視点に関わる表現	
第12回	文法(5)―文末表現・単文から複文へ	
第13回	文章・談話	
第14回	ことばと社会(1)―敬語・待遇表現	
第15回	ことばと社会(2)―日本語のバリエーション	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	60	5回以上の欠席は単位認定できない。 授業への貢献度(30%):授業での説明を聴いたり練習をする態度・姿勢、積極性などによって評価する。(毎回0～2点評価)X15回＝30点満点(評価30%) 授業内の課題(30%):課題に確実に取り組んでいるか、要求通りできているかによって評価する。(毎回0～2点評価)X15回＝30点満点(評価30%)
その他	40	期末課題(40%):期末課題40点満点、要求された課題を真剣に取り組んで確実に作成し提出できたか、課題の問題を理解し適切な内容の文章を作成できているかで評価する。

2026 北洋大学							
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科						
区分	日本語教師(令和3(2021)年～令和7(2025)年) 日本語教師						
科目名	日本語教授法Ⅱ						
副題							
対象	2年、3年、4年	開講期		開講学期	2026年秋学期	履修要件	必修
種類	講義	時間数		単位	2	授業回数	15
カリキュラム	2021	教室	C325・C326	担当教員	奥村 訓代		
到達目標							
それぞれのおかれている環境を理解し、最適の教授法や教材で対応できる能力を養う。							
成績評価の方法							
TPOの見極め方をチェックし、その適切さによって評価する 教材選定30% 教授法30% 振り返りと改善40%							
テキスト							
特になし							
その他							
講義内容							
講義－実践－反省－改善の繰り返し							
受講登録以前に準備すること							
以下下での知識を実践に生かせるように創意工夫しておくこと							
取得可能な資格							
日本語教師国家試験の準備となる							
授業の方法							

2026 北洋大学	
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科
区分	日本語教師(令和3(2021)年～令和7(2025)年) 日本語教師
科目名	日本語教授法Ⅱ
講義と演習	
授業計画	
第1回	オリエンテーション 授業内容と評価の方法など
第2回	いわゆる大学の留学生に必要な日本語・及び日本語教育の教え方(1)
第3回	同上(大学2)
第4回	いわゆる日本語学校の留学生に必要な日本語・日本語教育の教え方(1)
第5回	同上(日本語学校2)
第6回	技能実習生に必要な日本語・日本語教育の教え方(1)
第7回	同上(技能実習生2)
第8回	小・中学校(義務教育)で日本語・日本語教育を必要とする人々への教え方(1)
第9回	同上(義務教育2)
第10回	生活者としての外国人に必要な日本語・日本語教育の教え方(1)

2026 北洋大学		
学部・学科	国際文化学部 キャリア創造学科	
区分	日本語教師(令和3(2021)年～令和7(2025)年) 日本語教師	
科目名	日本語教授法Ⅱ	
第11回	同上(生活者2)	
第12回	海外で日本語・日本語教育を必要とする人々(1)への教え方	
第13回	同上(海外2)	
第14回	その他の日本語・日本語教育を必要とする人々への教え方	
第15回	まとめ	
成績評価の方法		
区分	割合(%)	内容
定期試験	0	
定期試験以外(授業内の課題・参加度・出席態度等)	85	授業中の質問に対するレスポンス30% 理解度30% 準備25% により適応能力を見る
その他	15	相対的な態度・貢献度などにより観察力をを見る